

2018年11月26日
株式会社キトー

本日、2018年11月26日に実施いたしました2019年3月期 第2四半期 決算説明会での質疑の要旨を、下記のとおり公開いたします。

質問1：

主要マーケットとなる日本・米国について、来期以降、どのような見通しを持っていますか。

回答：

日本・米国マーケットにおいては、大きな需要の落ち込みはないと考えています。民間設備投資は若干の弱含みとなっておりますが、土木工事をはじめとするインフラ投資関連の伸びが補い、プラスを見込めると予想しております。

質問2：

日本の市場状況について、下期の見通しをお聞かせください。

回答：

日本のマーケット環境について、今後は減速するとの懸念の声が少し増えてきたように思います。通期見通しはそのような警戒感を踏まえ、多少保守的と致しましたが、一方で、レンタル向け出荷が当社の予想を超える水準で推移するなど、足もとの需要は引き続き好調であり、現時点で下期に需要が減速する可能性は少ないと考えています。

質問3：

2018年第2四半期の営業利益率が10.7%に上昇していますが、昨年度の基幹システム入れ替えの効果が現れてきたのでしょうか。

回答：

昨年7月に導入した基幹システムは安定稼動に入っておりますが、効果の刈り取りはこれからです。今四半期の営業利益率の改善は主にトップラインの拡大、販売数量の増加が寄与しています。

本件に関するお問い合わせ

株式会社キトー

コーポレート・コミュニケーション部

TEL：03-5908-0161

MAIL：ir@kito.com